日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２８期・５巻　　２０２２年　　８月号　　NO. 252

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Susono Reihou Alpine Club

風の記憶

山行ＮＯ．１９８１
２０２２．０７．０９
八ッ・西天狗岳

２０２２年度・０８月度例会資料　　２０２２・０８・０６

報告・当面の予定

０６月１８日（土）～１９日（日）個人＝日向八丁～黒戸尾根・・・六合石室泊
２４日（金）個人＝八ッ・権現岳　１名・・・雨風強し、三ッ頭まで
２５日（土）会＝西天狗岳　６名・・・にぎやか
２６日（日）個人＝千頭星山　２＋１６名
０７月０１日（金）個人＝鍋倉山　２＋１名・・・夏の鍋倉はガッカリだった
０３日（日）個人＝二ッ塚　３＋１名・・・Ｇ邸で直会
０６日（水）個人＝二ッ塚　２＋１名・・・歩荷訓練
０９日（土）個人＝富士山・須走口　１＋２名
０９日（土）会＝西天狗岳　５名・・・オサバクサ
１３日（水）個人＝霧ヶ峰　５名＋８名・・・ニッコウキスゲ・ヤナギラン
１６日（土）～１８日（月）個人＝荒沢岳　１＋３名・・・荒天中止
２２日（金）～２４日（日）個人＝爺ヶ岳～鹿島槍　２＋４名・・・荒天中止
０８月０６日（土）～０７日（日）東沢・釜ノ沢　１＋３名
３０日（火）～９月０１日（木）利尻岳・沓掛コース　１＋３名

３．寄贈会報とピックアップ

「ハイキングだより」　みちぐさハイキングクラブ　７月号　NO.335　P18　電子版
報告＝6/26、山開きに合わせて、1972 年から続けている越後駒で清掃登山 50 年目の今年は、5 コース・7 班で 25 名（一般 1 名）参加。1 名は日帰りで銀山平～荒沢岳～駒～銀山だった。(凄い) また、I さん (75 歳）は、２名で大倉～八海山～中ノ岳（泊）～駒～銀山平だった。いずれにしても、皆さん「強い」！！！

「やまなし山の会会報」　山梨・山の会　６・７月号　NO.301・2　P23・19　電子版
６月報告＝会報名募集、座学シリーズ「山と緑の自然」、下の廊下、十二ヶ岳、登山教室・湯村山、山菜ハイク、楢ノ木尾根交差縦走、西穂高岳・独標、立山・一ノ越、宮之浦岳、立山スキー、山行状況、など
７月報告＝大と緑の自然・雑学、初夏の「朴葉寿司」、天城山、２０２２公開登山教室・笹子雁ヶ腹摺山、大ナジカ～鳳凰山、雲取山、野反湖・シラネアオイ、桜峠、鷹見岩、など
＊大ナジカ峠は、一度、訪れたい素晴らしい所のようだ

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　７月号　NO.表記ナシ　P11　電子版
計画＝富士山、小楢山、甲斐駒・仙丈ヶ岳、三ッ頭～権現岳、山伏、八ッ縦走。報告＝三ッ峠山、富士山（幻の滝)、位牌岳、日向山、など

「あさぎり」　あさぎり山の会　７月号　NO.345　P34　紙編集
計画＝男体山、鳳凰三山、赤岳、霧ヶ峰、鹿島槍、竜爪山、白山、針ノ木岳。報告伊豆・トンボロ、朝霧高原・清掃ハイク＝ゴミ 35,6ｋｇだった。御正体山、皮子平、入笠山、四阿山～根子岳、御嶽山＝ドラゴンアイ、掲示板など

第５６期（２０２２年度）第３回理事会　報告　　２０２２年６月26日

於　長田生涯学習センター

伊豆ＨＣ労山会員Ｇ（野口濶資）	○	清水労山（千葉洋己）	○	山登歩（花澤秀治）	○
（竹端節次）	欠	静岡労山（加藤高志）	○	（周防紀一郎）	○
三島労山（平野悟）	○	（砂子とみ江）	○	ＮＭＣ（海野美春）	○
麗峰・ふじ山楽歩（加藤秀子）	欠	安倍っ子（竹本造）	○	（森　英代）	○
沼津労山（鈴木みどり）	○	焼津山の会（山崎勝）	○	浜松（代理岡本武久）	○
あさぎり（富永政則）	○			フレンズ（鈴木哲治）	○

１　各ブロックからの報告

東部ブロック・・・前回から会議等なし

中部ブロック・・・６月１７日ブロック会議

６月２日　　軽井沢と浅間隠山

日帰りクライミング　　２回実施

１１月の自然保護デー　講師林さんに依頼予定

２　各専門部からの報告

組織部・・・アンケート結果の報告（別紙参照）

会員を増やす取り組みは、HP やブログ、会員の紹介、口コミが多い。

退会者を減らし魅力ある会運営については、各会での工夫がみられた。

１１月末に組織数の報告があるのでご協力を。

教育遭対部・・春山の報告を配信してもらう

自然保護部・・清掃ハイク報告今月末締め切り。本日実施している会もあり報告を忘れずに。

３　県連関係

安全登山講習会（１０月２３日）

講演・・・羽根田　治氏

会場・・・清水区役所ふれあいホール

例年 13 時受付、１３時半開会　１５時半終了くらいの予定

ベルクシュタット（１１月２０日）

前回のおさらいとツエルトの使い方

搬送までにやることなども含めてほしい

全国連盟に安全対策基金の申請をするので、チラシを作成してほしい。

今後は　メールで配信していく

静岡市クライミング教室・・・①７／７（木）、１４（木）、２１（木）

②９／３（土）、６（火）、９（金）、１３（火）、１６（金）、２０（火）

＊１９：００～２１：００　９／３のみ９：００～１２：００

①トップロープ　②リードクライミング

雨天時予備日あり　　募集は２６日まで　　講師は８人

４団体での話し合い（「十山」の出席あり）

３０BY３０について（資料参照）

２０３０年までに陸と海の 30 パーセント以上を自然保護環境エリアとして保全しようという取り組みで、山岳４団体も協力していこうという意向。

南アルプスを知ろう写真展・・・１１月１日（火）～６日（日）

静岡市民ギャラリー展示室　　詳細は７月末　「来・て・こ」で話し合い

場所は確保済みで、会場費の負担あり。

労山担当なので、役員で静岡労山から江藤さんと砂子さんに入ってもらう。

写真の確保が第一なので、呼び掛けてほしい。

４　全国連盟関係

・全国遭難対策担当者会議・・・　７月２日～３日（日）　仙台

・全国自然保護講座　・・・・・　７月９日～１０日（日）　滋賀県

・全国ハイキング交流集会・・・　９月２３日～２４日（日）　山口県

・若手クライミング講習会・・・　１０月１日～２日（日）　小川山（５０歳以下参加可）

・全国登山者研究集会　・・１０月２９日～３０日（日）ホテルコンチネンタル（府中市）

・全国自然保護集会・・・・・１１月１２日～１３日（日）全国連盟事務所　zoom 参加あり

１１月１２日に和田武氏の講演あり

全国連盟理事会報告（別紙資料参照）

自然保護講座の下見報告＝韓国体育市民連帯とのオンライン Zoom 懇談会

登山時報について・・２０２２年１２月号をもって廃止。

２０２３年１月から　仮称「労山ジャーナル」「季刊誌登山時報」を発行。

労山ジャーナル	毎月発行 A４版８頁カラー建て	購読・配布無料、原則電子媒体による配布 紙媒体希望者は県連で部数をまとめる	
季刊誌登山時報	春、夏、秋、冬号を年４回発行 A４版３０～４０頁建て程（未定）を想定	無料購読、地方連盟にメール添付→県連から各会へ配信 全国連盟 HP からのダウンロードも可 ＊紙媒体で購読希望の会員には、有料で会員が指定した住所に送付される。購読料１０００円（含送料４００円）	

各会で対応を検討してください。後日調査用紙を配信します。

５　その他

・財政部からのアンケートについては、代表者会議で出たところもあり、各会それぞれでいいのではないかということで、実施しない。

・浜松で行った自然保護集会での報告集作成予算を県連会計に。（全国連盟には報告済み）

・次回理事会１０月２３日の午前中　　午後は安全登山講習会　　清水区役所

以上

ビッグ・ニュース

７/１４、２０２３年度・労山カレンダーに、浜松労山・柴田さん（５月）と編者・後藤（１２月）が選ばれました。
写真は、昨年１２月・富士山忘年山行のもので、写っている方は、加藤・星・勝又・井上・合谷です。来年度カレンダー、是非、購入して下さい。

題＝「今日の凱歌に足取り軽く」（Ｋの赤シャツがイイね）

コメント（１００字限定）
静岡県東部在住の岳人にとって、富士山は「大いなる山」
積雪が少ない静岡県で絶対標高もさることながら、雪上訓練・雪山ハイク・山スキーなど、
遠方の山に行かなくても雪山が楽しめる貴重な存在。
私たちは、富士山に「育てられて」います。

全国連盟のメッセージ
7 月上旬に行われた選考会の結果、2023 年版・労山カレンダーに貴殿の作品が選出されました。おめでとうございます。
つきましては、添付の資料をご参照頂き、掲載コメント等を 7 月 25 日(月)までにご連絡ください。

切り抜き帳

静岡新聞から転載

登山家西川さん エベレスト登頂成功

夢かなえた自分に自信

静岡市駿河区を拠点に国内外の山に登り続けている登山家西川史晃さん(40)が、5月に世界最高峰エベレスト(標高8848㍍)の登頂に成功した。報告会が19日、同区の用宗公民館で開かれ、西川さんは地域住民ら約50人を前に、登山を始めた経緯や登頂までの苦労を語り、世界7大陸の最高峰を登る「セブンサミット」にも意欲を燃やした。

世界最高峰エベレストに登頂した西川さん（提供写真）

西川さんは仕事や人間関係に悩んだ30歳の時に登山をはじめ、会社員から登山家に転身。エベレスト登頂とセブンサミットを目標にした。登山の魅力について「技術や体力など、自分に足りない部分を埋めたら必ず成功体験が味わえる。徐々に自信を取り戻すことができた」と語った。

エベレストの登頂達成を語る西川さん＝静岡市駿河区の用宗公民館

7大陸制覇に意欲 静岡で報告会

アフリカのキリマンジャロを皮切りに、4大陸の最高峰を制覇して実績を重ね、五つ目の最高峰となるアジア大陸のエベレストを目指して4月に出国。8千㍍超の高度に身体を順応させるための訓練や、氷の絶壁「アイスフォール」などの困難を乗り越え、5月13日に登頂に成功した。西川さんは「山頂付近では酸素が3分の1と薄く、10歩歩いては休むなど、体力的に厳しかった」と振り返った。

来年以降、セブンサミット達成に向けて南極と北米の最高峰に挑戦する。「エベレストを目標に掲げてから2468日。目標を口に出し続け、成功できたことに価値があった。夢を持つことで、夢をかなえる自分になれた」と声に力を込めた。

（社会部・崎山美穂）

6/2

大自在

富士山は1日、山開きした。10日には静岡県側の3登山道も開く。ところで、富士はいつから「フジ」なのだろう。福慈、不盡、不尽、不二などと書くが、知りたいのは漢字が伝来する前の呼称である▼「縄文人の言葉はアイヌ語によって引き継がれた。よって日本中にアイヌ語系の言葉がある」とする説がある。富士はその一つで、アイヌ語で火を意味する「フチ」に由来するという。周知の通り、富士山は活火山である▼伊豆は「神々がいつも（霊峰を）見張りしている岬」と解くことができるという。富士山本宮浅間大社（富士宮市）は「せんげん」と読むが、主祭神の浅間大神の読みは「あさま」。「あさま」は、（神が）隣に座っているという意味のアイヌ語「アーサム」が語源と解される（大木紀通著「縄文の言葉」）▼浅間大神は木花之佐久夜毘売の別称。記紀の「火中出産」が知られる。身ごもったのは地上に降り立った瓊瓊杵（邇邇芸）の子に間違いないことを証明するために産屋に火を放ち、男神3柱（火照、火須勢理、火遠理）を産んだ▼富士を鎮める美しい女神は、火難消除、安産の神としても信仰される。富士山は日本人が近くに感じる存在で、向き合う心のありようで神性をもち、畏敬畏怖の対象になる▼バーチャル・ユーチューバーと呼ぶのだとか。繁栄を象徴する富士の女神に名も設定も似たアニメーションの女の子「木乃華サクヤ」はデビュー1年。動画投稿サイトやラジオ、テレビで元気はつらつだ。元気を登山の人々にも分け、皆と安全を祈願してほしい。

2022.7.6

御嶽山噴火訴訟

警戒レベル据え置き 違法

長野地裁支部 賠償請求は棄却

長野、岐阜両県にまたがる御嶽山で、戦後最悪となる死者58人、行方不明者5人を出した2014年9月27日の噴火災害に際し、気象庁が噴火警戒レベルの引き上げを怠ったなどとして、遺族や負傷者計32人が国と長野県に計3億7600万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、長野地裁松本支部は13日、「気象庁による警戒レベル据え置きは合理性に欠け、違法だ」と認定した上で、請求を棄却した。判決後の記者会見で、原告は控訴の意向を示した。

＝判決要旨は27面へ

警戒レベルを2に引き上げる基準の一つである「火山性地震が1日に50回以上」を満たしていたほか、別の基準の「山体膨張を示すわずかな地殻変動」の可能性を把握しながら、レベルを据え置いた気象庁の判断の是非が争点だった。

御嶽山では14年9月10日に52回、翌11日に85回の火山性地震を観測したが、山城司裁判長は判決理由で、その時点で警戒レベルを上げなかったことについて「過去に50回を超えながら噴火しなかったケースがあり、専門家に相談もした。判断が不合理だったとは言えない」と述べた。

しかし、噴火2日前の25日時点で観測データから山体膨張が起きた可能性があるとする意見が気象庁内であったのに、適切な分析を行わなかったと指摘。15～20分の検討で引き上げは不要とするなど、十分な議論を行わなかったとした上で「漫然と警戒レベルを据え置いた」と非難した。

一方で「警戒レベル引き上げの判断には一定の時間がかかり、立ち入り規制が間に合わなかった可能性があることや、死傷した登山者の行動は不明な点がある」と指摘。据え置きと死傷の因果関係が認められないと結論付けた。

御嶽山訴訟の主な争点と判断

	原告側	国側	判決
山体膨張	気象庁はデータから山体膨張を示す地殻変動の可能性を指摘していた	変化量は誤差と同じ程度。気象にも影響されるため、山体膨張と断定できなかった	観測データから山体膨張の可能性を否定できないのに警戒レベルを据え置いた判断は違法
火山性地震	警戒レベルを2に引き上げる基準の一つである「1日50回以上」を満たしていた	地震の回数は目安で、過去の噴火と比較して規模も小さかった	過去に50回超で噴火しなかったことがあった。専門家にも相談した上での据え置き判断は直ちに不合理と言えず

御嶽山噴火訴訟 判決要旨

御嶽山の噴火を巡る国家賠償請求訴訟で、原告の請求を棄却した13日の長野地裁松本支部判決の要旨は次の通り。

【争点と判断枠組み】

原告は、2014年9月10、11日に火山性地震の回数が1日当たり50回を超え、同12日に噴火警戒レベルを引き上げるべきなのに、上げなかったのが違法であると主張。さらに、山体膨張を示すわずかな地殻変動が生じたことを踏まえ、遅くとも9月25日までにレベルを引き上げなかったことも違法であると予備的に主張する。

気象庁火山課の職員が噴火警戒レベルを引き上げないとした判断の過程およびその結果が、許容される限度を逸脱して著しく合理性を欠くと認められるかを検討する。

【火山性地震】

噴火警戒レベルに関する判定基準は「1日に50回以上の火山性地震の発生」などの事由を列挙している。判定基準の欄外に「これらの基準は目安とし、上記以外の観測データも踏まえ総合的に判断する」との記載があることを踏まえると、列挙された事由を一つでも観測した場合は直ちにレベルを引き上げる職務上の注意義務があったとはいえない。

【山体膨張】

9月25日は、山体膨張の可能性を示すわずかな地殻変動が確定的に観測されたとまではいえず、その可能性が指摘されたにとどまる。直ちにレベルを引き上げるべき注意義務が生じていたとは言い難い。しかし、10日の火山性地震の増加から始まる火山の活動状況などから、可能性が指摘された以上はこれを考慮し、レベル引き上げも含め慎重に検討すべきだった。

にもかかわらず、安易に地殻変動と断定できないとの結論を出し、レベルを引き上げないと判断した対応は問題だ。わずか15分から20分程度の検討で安易に結論を出しており、注意義務を尽くしたとはいえず、漫然とレベルを据え置いた判断は、その過程と結果において限度を逸脱して著しく合理性に欠けて違法だ。

【被害との因果関係】

仮に気象庁が注意義務を尽くしても、噴火警戒レベルの引き上げには一定程度の時間を要する可能性がある。引き上げ後の立ち入り規制などの措置が、被害者らが今回の噴火時に火口周辺に立ち入るまでに確実にされたと認めるのは困難。

噴火前の登山者の行動は十分に明らかになっているとはいえないことも考慮すると、気象庁が注意義務を尽くしていれば被害が生じなかったと認めるのは困難で、気象庁の違法行為と損害との間に相当因果関係があるとはいえない。

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・加藤　　写真・後藤
山行 NO.　参考	
日　時	２０２２年６月１８日（土）～１９日（日）
山　域	甲斐駒ヶ岳（２９６７ｍ）・日向八丁尾根
コース	１８日　矢立登山口５：００ー六合石室（泊）１４：００ １９日　石室４：３０ー甲斐駒６：２０ー黒戸尾根ー竹宇駐車場１２：００
単純標高差	上り　矢立登山口約１１２５ｍ～大岩山２３２０ｍ＝約１１９５ｍ 大岩山コル約２１９０ｍ～烏帽子岩２５９４ｍ＝約４０４ｍ 六合石室約２５３０ｍ～甲斐駒２９６７ｍ＝約４３７ｍ　標高差＝２０３６ｍ
藪漕度	なし
難易度	非常に困難　　レ困難　　やや困難　　普通　　やや易しい　易しい
･･･ボチボチと気楽な山登りが良いなぁ･･･と	
参加者	加藤、ほか２名（ふじ山楽歩）

朝４時起床。矢立岩登山口を５時出発。荷物は１３キロ。背中にズシリと重い。久し振りの重さに手応えを感じながら、矢立岩から緩やかな尾根コースをゆっくりと登る。
今回は７月に登る荒沢岳の訓練登山である。

荒沢岳は銀山平～荒沢岳～中岳～越後駒ケ岳の周回コースを寝袋、ガスコンロ、水、食料を一切持ち込んでの避難小屋の一泊二日で計画している。

日向八丁から鋸岳稜線（高い所が、第一高点）

参加者は４人。私以外は６５歳が２人と５１歳。皆遥かに私より若い。この八丁尾根が無理なら、ＣＬとして同行する資格はない。
重々胸に其の事を刻み、同じ装備をして今回の山に挑んだ。日向山を通過し、鞍掛山の分岐を過ぎ、大岩山まで小休憩を取りながら約４時間強。汗をかきながらも、いいペースで上がってきた。

鞍掛山手前から甲斐駒

此処まで来ると可憐なコイワカガミの群落で、山全体が濃いピンク一面に覆われていた。皆に見せてあげたい光景だねぇと話すも、此処まで来れる人が何人いることか・・・？
大岩からの下りは尾根を外さず、ロープ、鎖、梯子を頼りに鞍部まで直下に下る。
以前はザイルを使ったが、今は整備をされて「うっかりミス」がなければ滑落する事はない。烏帽子への登り返しは暫くは樹林帯のヤセ尾根が続くが、直下になると岩峰の岩伝いに出る。キバナシャクナゲがチラホラ。目前に鋸の稜線のギザギザと鋭い岩峰が見えてきた。重い。ザックの重みが身体に食い込んで休憩が多くなってきた。

トレランの若い男女３人とすれ違う。
朝４時に竹宇を出て甲斐駒から八丁尾根を日帰りするという。
背中はセミがとまったような小振りのトレランザック。羨ましい！軽快に下っていった。

大岩山下り・・・２００３年当時、ハシゴ・クサリは無かった

　鋸稜線の分岐からは小さなアップダウンを繰り返しながら１４時に６合の避難小屋着。単独者の先着組が２人。土間だった小屋は半分が床に整備され、ギュウギュウ詰めても６人位しか泊れない小さな岩室だ。小屋から１０分という水場に取りあえず水を汲みに走る。それからゆっくり茶を沸かしホット一息。長かった。重かった。しんどかった。
夕方スコールみたいな雨がドサーッと降ってきたが３０分程で上がった。
マイナス気分満載で早めに就寝。

振り返る・・・高い所が大岩山（後ろは八ヶ岳）

翌日、隣のおじさんが早くからビニール袋をガサガサ、パチン、シュッ、何の音だか・・・フンフン鼻唄まで歌いだし寝ても居られず起きてしまった。
他の人はまだ静かに眠っているのに鼻唄？考えられない！ハタ迷惑！
仲間も寒くて寝られなかったと起きだした。朝ご飯が毎度のことだが食べられない。
お茶だけ飲んで、荷物を整理し夜が明けないうちに小屋を出る。
ヘッドランプの明かりで大きな岩屑の上をハイマツを避けながら稜線にあがった。
風がサワサワ身体を通り抜けて何とも寒い！羽毛を重ね着する。

稜線上はハイマツが生い茂り道を塞ぐ、その中を先頭で歩く私の腰から下は朝露でずぶ濡れ状態。靴の中まで水が入り足はだるく、風にさらされた手はかじかみ、岩や鎖が上手く掴めない。只ひたすら無言で頂上を目指す。
もう頂上か？と喜ぶのも束の間、また下り、又登る。更に尾根は続く。又か、又かと一から百まで何回口の中で繰り返した事か。身体が重だるく足が攣りそうだ。
やっと頂上の祠が見えた。
「お～い！」と手を振ると「「お～い！」と返事が帰ってきた。
瞬間「やった～！」と。この瞬間があるからこそ頑張れたのか。

頂上に朝一番の若い衆だ。このあと、東京から電車できたと言うこの学生さんと下りが前後になったのが縁で仲間が近場の駅まで送ってあげた。
頂上に着くと来るわ、来るわ、黒戸尾根からの登山者（大半がトレラン）が。

２００３年当時の石室・・・現在は建て替えられている

　降って湧いたように頂上に集まる。
ガスが切れ、陽は燦々と展望は３６０°。暖かい。温かい。陽の何と温かい事か。
羽毛を脱ぎ、陽の有難さを全身で受け取った。
長居は無用とばかり、そそくさと下山開始。
黒戸尾根はもう慣れたホウジロ。七丈小屋で小休止してあとは一気に駐車場まで。
黒戸山や、途中の登山道にはやっぱりコイワカガミの群落、クモイコザクラ、ハクサンイチゲ、ツバメオモト等目を楽しませてくれた。
着いたのは丁度１２時、広報のお知らせチャイムが鳴っていた。

　今回は体力の衰えを感じさせてくれた。歩くことは出来ても、荷物が背負えない。ヤダねぇ！

　でも、日向八丁尾根から登ったのは私達のみ。途中で出会った人達はトレランが多いが、皆黒戸尾根から登ってきた。達成感？手ごたえ？は、十分ありました。
７３歳の女性の体力では「よく頑張った！」と自分を鼓舞したい。
　ボチボチと気楽な山登りが良いなぁ・・・！と、何時までその考えが続くかわからないけれど、今はそう思っている。

竹宇駐車場

（了）

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上弘二郎　　写真・後藤
山行ＮＯ．1990	
日　時	2022 年 6 月 25 日（土）晴れ
山　域	山中湖
コース	長泉 8:00-山中湖交流プラザ「きらら」駐車場 9:04 発-昼食 11:00～12:00-駐車場 13:51 着-石割の湯 14:15～15:40-長泉 17:00
標高差	上り・下り　なし
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　　困難　　やや困難　　普通　　やや易しい　　レ易しい
たまには、山中湖一周ウォーキング	
参加者	後藤、勝又、伊藤、山田（敬）、山田（由）、井上＝6 名
ど～が	http://susono-reihou.babyblue.jp/0000-36.mp4

登山の予定だったが、雨の予報のため、計画は乾徳山→八ヶ岳西天狗→山中湖一周（石割山の可能性もあった）に変化していった。長泉を出る時は曇りで、高速に乗り御殿場に入ると深い霧。

天気予報が言うように本当に山梨は晴れているのだろうかと心配したが、高速を降りると快晴だった。石割山の山頂付近は雲の中だったので、登山はしないで山中湖一周に決定。

山中湖交流プラザ「きらら」の駐車場に停める。1 日 300 円。ヤマボウシが咲いている。そこから湖畔に出て水際を歩く。

ヤマボウシ（山法師）

サンショウバラ（山椒薔薇）

水際は砂が締まっていて歩きやすい。私はウォーキング用の特別な靴を持っていないので、通勤で使っている 3000 円の白いスニーカで行った。黒いズボンと白い靴が学生服を着た中学生みたいではずかしい。

湖の水面には小さな波があり、はっきりとしないが逆さ富士がなんとなく見える。快晴の空に山中湖の後ろに堂々とした富士山を見るのは初めてで感動していたが、後藤さんに

素晴らしい！！

水遊びのワンちゃん

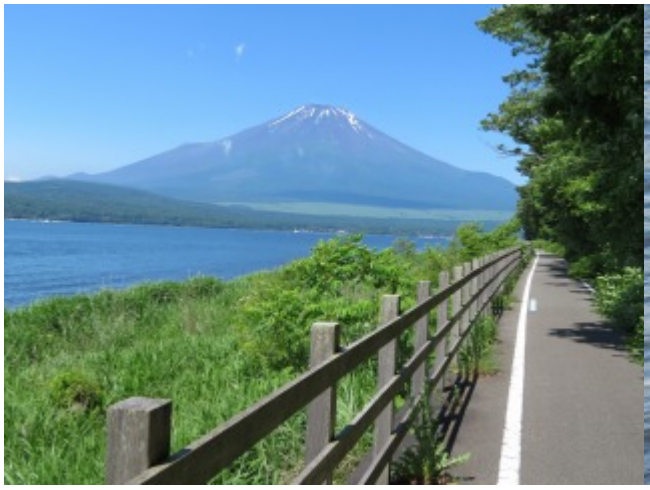
いい感じの別荘

言わせると、「富士山はどこで見てもすばらしいよ」だった。

　このあと、ほぼ一日、開山直前の夏の富士山を眺めることができた。長泉側から見る富士山と違い、左に宝永山、宝永火口があり、裾野は左右に水平になるまで伸びている。植生限界より上は、表面が赤い。

　頂上の下にはわずかに雪が解けずに残り何本かの白い線を引いている。6 月初旬に行った（はまった？）須山口のグランドキャニオンはどこかと、前回の参加者で目を凝らした

がわからない。
　あんなに大きな谷だったのに、離れると全く見えない。間近に見た富士山の巨大さ、遠くから見る富士山の美しさ。どちらもよいです。


湖畔道

アオサギ

コーユー倶楽部・山中湖サロン

面白バイク

たくさんの人が、それぞれに自然を満喫していた。ランナー、ウォーキングする人、ツーリングするオートバイ、サイクリングロードを走る自転車、関東から車で来て湖畔の駐車場に停めて、湖と富士山をながめる人々、岸からルアーを投げる人、台を水の中に設置しヘラブナをじっと狙う人、ボートから釣る人、ジェットスキー、モーターボートで水上スキーやウエイクボードを楽しむ人。
　枚挙にきりがない。特にご苦労さんと思ったのは、ボードに立ってオールで進むサップだ。この暑い炎天下に、風上に向かって一生懸命漕いでいる。もしかすると、ランナーズハイとかクライマーズハイみたいに、しんどいところから気持ちよくなるサップハイがあるのかもしれない。
　でも水の上では、この日光から逃げるところもないし、荷物も持っていないようなので、食べ物や水分もどうするんだろう。
　理解ができないが、お互い様だ。向こうからも同じようなことを思われているのだろう。

昼食

三輪バイク

午後のウオーク

野イチゴが一面になっていた。甘くて、１つ食べるとやめられなくなった。終わりかけのサンショウバラが咲いていた。

昼食は、山田夫妻は湖畔のレストランで生ビール。その人は、湖畔の木陰でいつもの山の食事。後藤さんのキュウリは甘くみずみずしく、みそがしょっぱくてうまい。

ここから後半戦。湖岸を離れ、車道横の歩道を歩く。4 分の 3 が終わる。土産店が並ぶ前の駐車場に珍しいバイクが停まっていた。持ち主に聞くと、カナダ製の 900cc で 150 万

円といっていたような。映画「バットマン」のバットマンの乗り物のようだ。歩道歩きも疲れるので、湖岸を歩く。モノを湖に投げて、犬に取りに行かせて遊ばせる人、木陰のハンモックに揺られる人、泳ぐおじさん、水辺で遊ぶ姉妹。

水遊び

　ここでも、みんな好きなように過ごしている。平和な景色だ。コロナだ、マスクだ、ウクライナだ、ロシアだ、と TV はいつもうるさいが、自然の中に入ると、世の中には問題が何もないかのように感じる。

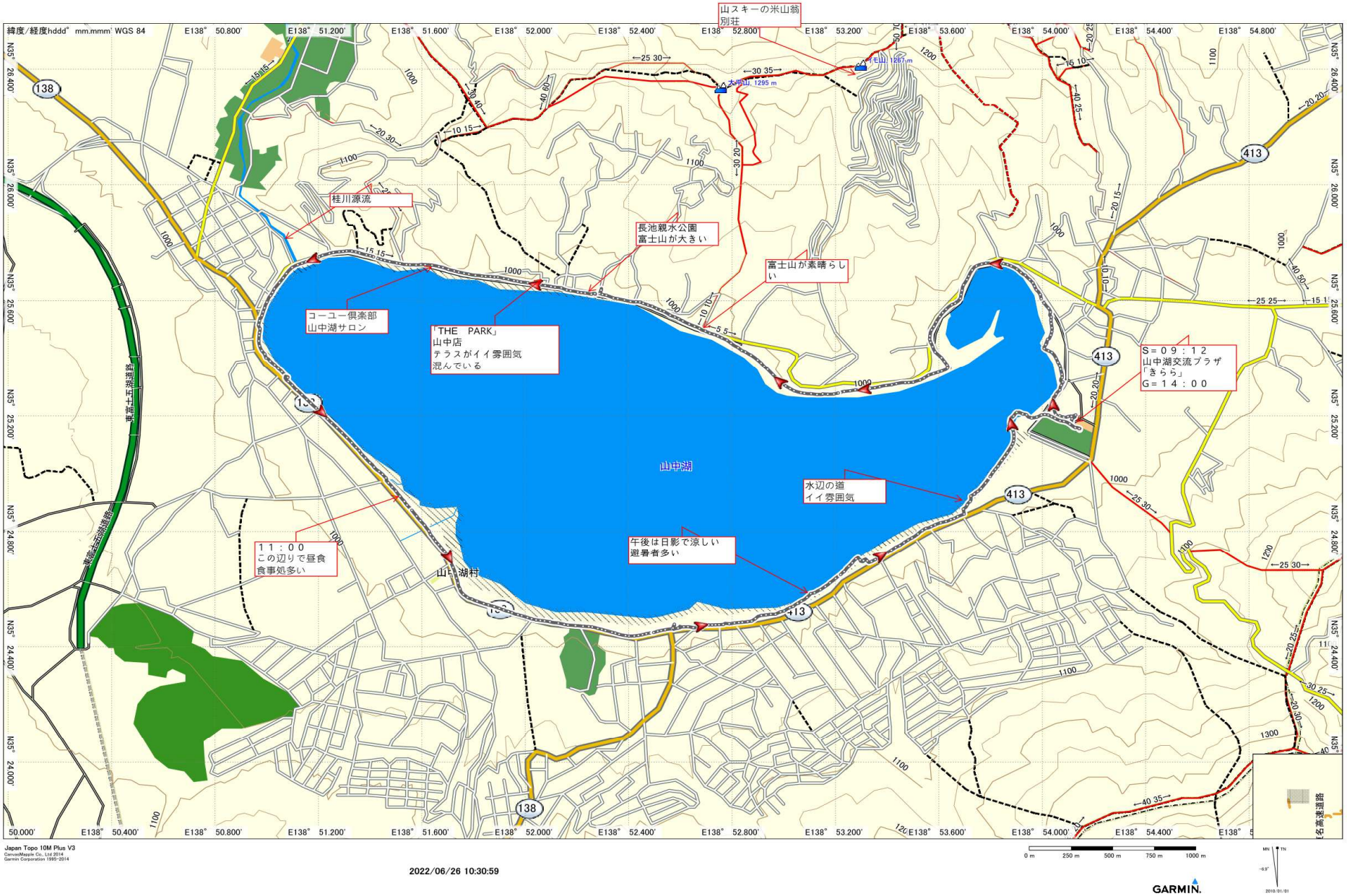
　貸しボート屋の店先に置いてあるベンチで休ませてもらい、後藤さんはもってきたビールを飲んだ。店主は暇そうにしていたが、貸した釣り船が戻ってくるのを待っているところだとのこと。

　あとは、水際を歩いて、駐車場に戻った。振り返ると富士山がいる。ウオーク後は、石割の湯(800 円)。露天風呂は 2 つあり、大きい木の風呂はかなりのぬる湯だが、実に心地よい。風呂からでてまたビール。

　帰路、御殿場はまた濃霧だった。長泉につくと、雲の下なのか天気は悪くない。コロナもゆるやかになり、「満貫」も「三楽」も予約できないそうだ。

　久しぶりに「伊豆海鮮」で 5 時から反省会。7 時前、予算に近づいたところでお開きになったが、まだ外は明るい。

以上


山スキーの米山翁別荘
桂川源流
長池親水公園
富士山が大きい
富士山が素晴らしい
コーユー倶楽部
山中湖サロン
「THE　PARK」
山中店
テラスがイイ雰囲気
混んでいる
S＝０９：１２
山中湖交流プラザ
「きらら」
G＝１４：００
山中湖
水辺の道
イイ雰囲気
１１：００
この辺りで昼食
食事処多い
午後は日影で涼しい
避暑者多い
山中湖村
138
413
緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
Japan Topo 10M Plus V3
2022/06/26 10:30:59
GARMIN

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・山田敬　　写真・後藤
山行NO.	１９８１
日　時	２０２２年０７月０９日（土）
山　域	八ッ・西天狗岳（２６４６ｍ）
コース	長泉５：００ー８：０２唐沢鉱泉ー渋の湯分岐ー黒百合ヒュッテ１０：２９ー東天狗岳１２：３７ー西天狗岳１２：５７～１３：５１（昼食）ー西尾根—唐沢鉱泉１６：４２ー長泉（反省会）
標高差	唐沢鉱泉約１８７０ｍ～西天狗岳２６４６ｍ＝７７６ｍ
藪漕度	なし
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
オサバグサ、東天狗･西天狗の山頂は青空絶景	
参加者	後藤、井上、伊藤ち、山田敬、斎藤＝５名
ど～が～	http://susono-reihou.babyblue.jp/0000-41.mp4

このところ天候が不安定で、雨は避けたいなと思ったが、結果的に日差しは強すぎず山頂では青空も見えて、涼しさを感じながらの山行に。初の八ヶ岳でしたが、今まで経験した山域とは違う魅力を感じることができました。

スタート地点は唐沢鉱泉。８時前に到着したが、すでに駐車場は車でいっぱい。いろいろな地域のナンバーがあり人気のスポットなんだと思いつつ、登山開始。

唐沢鉱泉

今回は、通常一般の人が進む西天狗岳経由ではなく、時計回りの渋の湯分岐から黒百合ヒュッテ経由で、東天狗岳から西天狗岳に登って昼食の計画。

登り始めてから、後藤さんがなぜこのルートにしたかを説明してくれた。登り始めた一帯は湿度が保たれているからか、足元は湿っている。しかし、道はゴロゴロした石だらけ。しっとり濡れた石にコケが生えていたりして、景色としてはきれいだが、歩くとなると、歩きづらい。ここを下るのは滑りやすいから危ないとのこと。確かにこれは気をつけながら降りないと、転ぶ人はいるだろうな（石の上で転ぶと痛いし）と思いながら登る。

ゴロタ石の道

道中、「オサバグサ」に出会う。「筬葉草」と書く。名前は、葉が機織りの「筬（おさ）」に似ているからついたという。確かに珍しい形をした花だなとは思うが、花の名前は覚えられない。

だいたい山の花はカタカナの長い名前が多い。一緒にいた伊藤さんも斎藤さんも「わー、かわいい」と、道中の花を見つけて楽しんでいるが、私は本当の花の楽しさをわかっていない。スマホで写真を撮って名前が正しいかを検証する係で、勉強中だ。

オサバクサ

樹林帯を抜けたら黒百合ヒュッテに着いた。１０時３０分。おお！人が多い。若者も多い。アウトドアブームを感じる。短パン、T シャツで来ている人もいる。転んだ時に大丈夫かなと思う。しかしアウトドア通販サイトの夏山ファッションは、こんなカジュアルな商品が多い。欧米系の外国人の方もちらほらいた。

彼らも白い足、白い腕を出してここまで来ている。日焼けしないのか、しっかり日焼け止めを塗っているのか、余計な心配をしていたら、休憩が終わる。ここから東天狗岳に向かう。

スリバチ池

天狗の奥庭までは、ほぼ岩登り。ごつごつとした大きな岩を登っていく。スリバチ池には水がなかった。6 月ごろまでは雪解け水があるらしい。天狗の奥庭からは左手に東天狗岳、右手に西天狗岳が青空の下に大きく見える。

山っていいなあ、なんて思いながら、時計を見ると 11 時。東天狗岳に登る途中、突然、斎藤さんの足がつってしまった。

どうしようと思って、反対側から降りてくる人に「ツムラ６８」ありませんか？と声を掛けたら、「ありますよ」と快くおじさんが１袋くれた。

ありがたい。薬を飲んだら斎藤さんはすぐに回復。あまりに早く復活したので**「プラシーボ効果＝有効成分が含まれていない薬剤（偽薬、プラセボともいわれる）**によって、症状の改善

や副作用の出現が見られること」じゃないの？などと冗談を言いつつ、なんとか東天狗岳へ。登頂者も多く、順番に記念撮影。

東天狗上り

イワツメクサ

この時点でもう１２時を過ぎていて、一旦、昼食をとろうしたが、食べてから、西天狗岳まで登るのは結構つらい。もうひと踏ん張りしようと、隣の西天狗岳まで向かう。

ここの稜線歩きは全体が見渡せるので気持ちがいい。とはいえ、断食修行状態。あまり楽しむ余裕なく、力を振り絞って、やっと西天狗岳に到着。時間は１３時頃。唐沢鉱泉から５時間。昼食を楽しんで、体や足を休ませる。

東天狗岳

西天狗岳を出発したのが１４時くらい。ガスも出てきたので、下山を急ぐ。途中、逆ルートで向かう親子連れにも出会った。お子さんは小学生くらい。今日は黒百合ヒュッテに泊る予定だそう。

小学生でよくこんなところまで登れるなあ、自分も小さな時からそんな経験を積んで大人になったら、どんな風になっていたんだろうと思った。

よく考えれば後藤さんもそんな経験者の一人。若い頃の経験は、後々自分が長く楽しめる趣味になったり、生きがいになったりすることもあるから大切だよなあとか思いつつ、下る。

第二展望台、第一展望台と過ぎて１５時。結構、だらだら下る。今回は標高差が８００ｍほどなので、膝が痛くなるようなことはないが、歩きやすい道かというと、岩場や木の根がいろいろあって、それなりに注意していないと危ない。１６時はすぎて、残念ながら

もう温泉に入れる時間ではない。まだかまだかと思って降りて、１６時３０分すぎにやっとゴール。いやー楽しかったけど、長かった。（笑）

西天狗岳上り

西天狗岳

駐車場に戻って、着替えていたら、アブが群がってくる。車中にアブが数十匹（数えてないけど体感値）。ちなみに私は虫が大嫌い。

後藤さんが「ドアを閉めて、窓を開けながら走れば、出ていくから、早く乗って！」というので、人間５名、アブ様、数十匹同乗で出発。

アブを払いのけながら、走り出したら、本当に数分でアブが車中からいなくなった。さすが後藤さん。山の経験値に助けられました。

第二展望台

第一展望台

その他の記述（後藤）

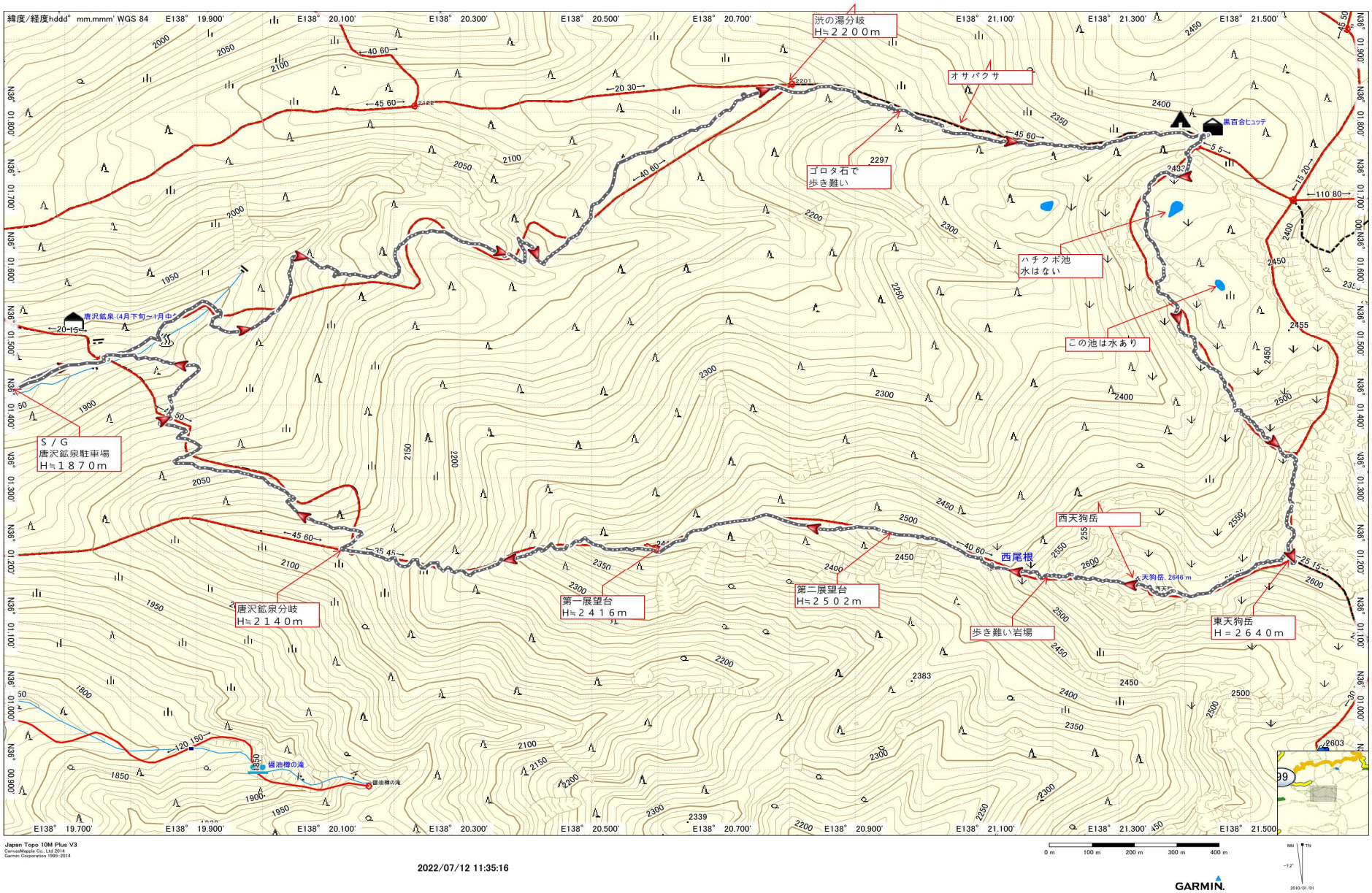
１．観察花＝オサバクサ（筬葉草）、白山石楠花、イワツメクサ（岩爪草）、岩鏡、ゴゼンタチハナ（御前橘）、コケモモ（苔桃）、ツガザクラ（栂桜）、ツマトリソウ（褄取草）、キバナシャクナゲ（黄花石楠花）、ミヤマダイコンソウ（深山大根草）、シロハナヘビイチゴ（白花蛇苺）、ミヤマカタバミ（深山片喰）、など

２．黒百合ヒュッテ道で、小屋の歩荷（ボッカ）に会った。

３．スパイク長靴のオジサンに会った。蒸れて暑いそうだ。（そりゃそうだ）

４．痙攣体質など、個人疾患がある方は、他人は分かり難いので、ツムラなど常備すべし。

５．唐沢鉱泉入浴時間は１５：００入場まで。この時間は、なかなかキビシイ。　　以上


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
渋の湯分岐
H≒２２００ｍ
オサバクサ
ゴロタ石で
歩き難い
ハチクボ池
水はない
この池は水あり
黒百合ヒュッテ
唐沢鉱泉（4月下旬～11月中
S / G
唐沢鉱泉駐車場
H≒１８７０ｍ
唐沢鉱泉分岐
H≒２１４０ｍ
第一展望台
H≒２４１６ｍ
第二展望台
H≒２５０２ｍ
西尾根
西天狗岳
天狗岳, 2646 m
歩き難い岩場
東天狗岳
H＝２６４０ｍ
醤油樽の滝
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2022/07/12 11:35:16
GARMIN

写真報告　7/13　　霧ヶ峰～八島湿原　13 名

ど～が～　http://susono-reihou.babyblue.jp/0000-37.mp4

八島湿原・夏雲湧く

八島・ニッコウキスゲ

霧ヶ峰

車山

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）
会報「れいほう」
第 28 期・05 巻　2022/8 月号　NO.252
連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990 055-986-6075

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/
Mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

ヤナギラン（八島湿原）

ミヤマダイコンソウ（西天狗岳）